

(4) 局部発振周波数の制御(AFT回路)

使用時期	局部発振管	Tube -番号	AFT 増幅管 AFT KEEPER	Tube -番号
1959(S34)	5J6(T)	-161	5U8(P),(T)	-144

使用時期	局部発振管	Tube -番号	AFT 検波管	Tube -番号
1962(S37)~1963(S38)	12AT7(T)	-113	6U8(T)	-142
1963(S38)	6M-HH3(T)	-162	6U8(T)	-142

AFT 検波ダイオード

使用時期	AFT 検波	Diode-番号
1960(S35)~1962(S37)	MD-60A	—
1961(S36)~1964(S39)	1N60	D-01
1963(S38)~1964(S39)	1S48	D-02
1965(S40)	1N34A	D-03

(5) 局部発振周波数の安定度

(6) 同調指示管

使用時期	同調指示管	Tube -番号
1956(S31)	6M-DE1,6E5-M	-169,-168
1961(S36)	6M-E5	-170

Tube- 168、 Tube- 169: 6E5-M、 6M-DE1

サンプル・メーカー	松下電器産業 (National)	外形番号	mT18-01
使用時期	1956(S31)	初期使用機種	スター (14T211)
使用回路	MTV:同調指示	Ef [V] × If [mA]	6.3×150

特徴：チューナ・同調指示用マジックアイ、映像中間周波増幅からの信号でグリッドを制御する。

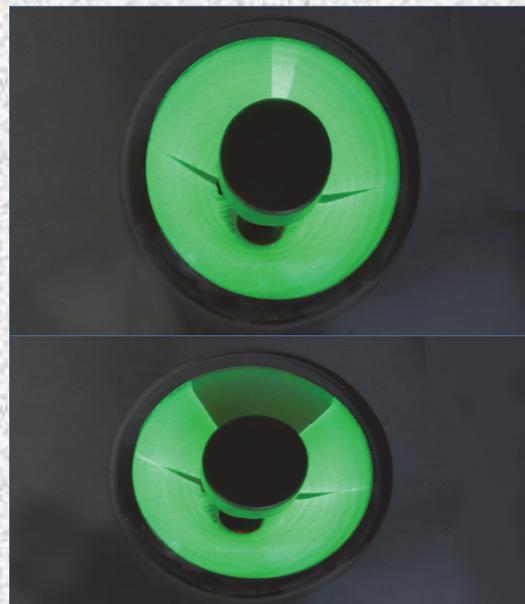
6M-DE1: チューナ・同調指示用マジックアイ、使用時期：1956(S31)、

初期使用機種：スター (14T211)

経緯：UZ-6E5のミニチュア型、CES 6M-E5相当、(全日本真空管マニュアル,第1版,1958)



一部拡大



通電状態 (上:アイ閉、下:アイ開)

Tube- 170:

6M-E5

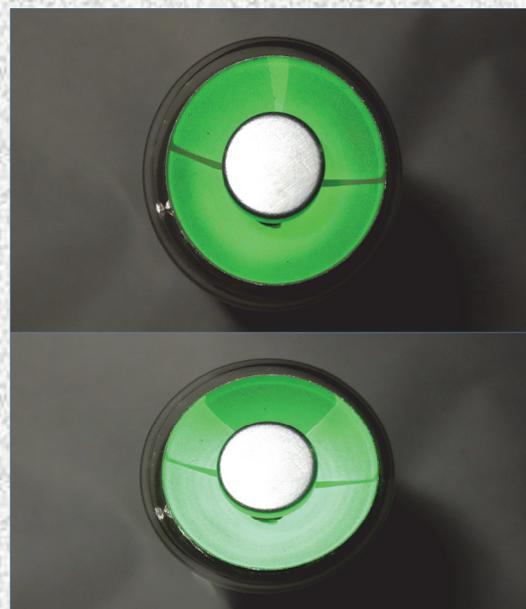
サンプル・メーカー	松下電器産業 (National)	外形番号	mT18-01
使用時期	1961(S36)	初期使用機種	三洋電機 (14-U35R)
使用回路	MTV:同調指示	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×150

特徴：チューナ・同調指示用マジックアイ、映像中間周波増幅からの信号でグリッドを制御する。

経緯：CES名：6M-E5、6E5-M類似、(全日本真空管マニュアル,第1版,1958)



一部拡大



通電状態 (上:アイ閉、下:アイ開)